

意見交換

意見等 市の循環バスが今年度から堺市に乗り入れるなど、新たなルートの確立に努めているのは嬉しいが、現在運行している便数を減らさないことにも注力してほしい。

応 答 バス事業者と連携しながら、既存の路線バスについては、撤退や規模の縮小にならないよう施策を講じるとともに、市循環バスについては、路線バスを補完する役割を担う市民の身近な公共交通として、より利便性の高いルートの開発・導入などに取り組んでまいりたい。

意見等 近畿大学病院と府営狭山住宅の跡地について、国土交通省の調査結果はいつになるのか。また、その結果に基づいて、どのような施策を実施していくのか。

応 答 国土交通省の補助金を活用した調査は、現在、事業者を募集しているところで、今年度中に結果報告がなされる予定である。そのため今年度末に、近畿大学病院の跡地に関する一定の方向性を示せると考えている。また、府営狭山住宅は、集約・建替えの対象になっており、棟を集約することで確保できた空き地の活用については、市の発展に寄与する土地利用となるよう大阪府と協議・検討していく。

意見等 現在、児童や生徒数が増えていると聞く。増加している要因を分析し、市外に情報発信やアピールをしてほしい。

応 答 学校によって増減はあるものの市内全校を合わせると増加している。各学校の取り組みや地域の方の協力がこの結果につながったと思っている。本市で教育を受けることを希望する人が増えるような取り組みを今後も進めてまいりたい。

意見等 他市では、市が土地を借り上げ、その土地を利用した商店や商業施設(民間)の家賃が市の収入となる官民循環型のまちがある。府営狭山住宅の建替えなどにおいて、本市でもこのような取組みができないか。

応 答 民間事業者が主体となって余剰地を活用することが前提であるため、市の取組みは限られるも、ご提案いただいた意見も参考に府営狭山住宅の今後の土地のあり方について大阪府と協議・検討してまいりたい。

意見等 河内長野から近畿大学病院の山林を抜け、看護専門学校の道からいちょう通りにつながる都市計画道路の構想があるとのことだが、騒音などの問題はどのように考えているか。

応 答 ある程度、具体化してきた時点で、近隣住民への説明やどのような対策が講じられるかなど判断しながら事業を進めていくことになる。住民の皆様がどれだけ納得してもらえるかが課題である。

意見等 高齢化がますます進行するなかで、独居高齢者で認知症を患った方の安全・安心について、成年後見制度などを含めた対策をどのように考えているのか。

応 答 高齢者も認知症の方も増えることが予想されている。成年後見制度をはじめとする高齢者施策に関する情報について、機会があるごとに市民の皆様にも周知してまいりたい。